

卒業制作 個性きらり 狙いや工夫、生徒が紹介

秋田美大付高等学院



秋田市新築の秋田公立美術
大学付属高等学院(83人)野
々口浩幸校長の卒業制作発
表会が28日、同校体育館で開
かれた。3年生29人が作品の
テーマや制作過程などを紹
介。生徒や保護者、教員ら計
約140人が目を傾けた。
3年生は木工芸、金属工
芸、インテリアデザイン、ビ
ールの作品が展示され、生徒ら



会場には作品が展示され、
生徒らが鑑賞を楽しんだ

3年生が作品のテーマや制
作過程などを紹介した卒業
制作発表会

が、いすに座ったりオブジェを
手に取ったりして鑑賞を楽し
んだ。

学校委員長を務める柴田愛
緒衣さん(18)は、銅を加工し
て小鳥のオブジェと花の咲く
台座を制作。オブジェはたが
ねを使って金属板を立体的に
加工する「打ち出し」という
技法を用いており、「初めて
の挑戦で苦戦したが、無事に
作品を完成させることができ

て良かった」と述べた。
発表に対し、後輩からは制
作のスケジュールやこだわり
の点などについて質問があ
り、3年生は「作業工程など
を明確に決めておくと、スム
ーズに制作が進む」とア
ドバイスした。

発表会は、3年生のプレゼ
ンテーション能力や1、2年
生の学習意欲の向上を狙い
て毎年開かれている。
発表された卒業制作は、来
年2月5日から9日まで、秋
田市中通の県立美術館で開
かれる生徒作品展「明日のク
リエーターたち」で一般公開さ
れる。(出澤陽立)